

## 学位論文内容の要旨

学位申請者	高梨 宏子 【人間発達科学専攻 2010年度生】	要 旨
論文題目	外国人生徒の学びを支える教師・支援者の意識変容の学習	<p>本研究は、外国人生徒に対して指導・支援をする教師および支援者の「意識変容の学習」のプロセスを明らかにすることである。外国人生徒は日本の学校において教科の学習に取り組むことが難しく、また、母語の保持・育成の機会が少ない。本研究では、外国人生徒の母語と日本語を使って学習する「教科・母語・日本語相互育成学習」（相互育成学習）による授業・学習支援を行った公立中学校の国際教室の取り組みに注目し、この取り組みに参加した教師・支援者が、外国人生徒の母語を使うことに対してどのような意識を持ち、変容するのかを分析している。</p> <p>本研究の具体的な研究課題は 3 つある。第一は、「母語を使った取り出し授業を実施した教師は、母語を使った授業に対しどのような意識を持ち、実践を通してどのように変容するのか」、第二は、「国際教室担当経験を持つ教師は母語を活用した学習支援に対してどのような意識を持ち、その意識は実践を通してどのように変容するのか」、そして第三は、「外国人支援者は自身の母語を活用した学習支援に参加し、支援活動に対してどのような意識を持ち、実践を通してどのように変容するか」を明らかにすることである。研究対象者は、実際に授業実践を行った教師、国際教室の担当教師、外国人の支援者である。研究方法としては、PAC 分析を採用している。</p> <p>本研究の主な知見は次の 3 点である。第一に、教員・学習支援者が相互育成学習を通じて、外国人生徒の母語を意識化し、母語を補助的なものではなく「学習を促すもの」へと認識を変えていった。また、第二に、教員・学習支援者が、「外国人生徒の将来の選択肢を広げる」という役割を意識するようになった。授業のあり方を問い直したり、外国人生徒の進路や将来に対する見方を変容させたりすることも確認された。そして第三に、周辺の状況にあった外国人支援者が外国人生徒の言語資源である母語を使い、学習支援することは、これまで問い直されてこなかった外国人生徒の母語や教科学習への取り組みに対する前提を問い直す機会ともなっていた。</p>
審査委員	(主 査) 教授 浜野 隆	
	(副 査) 准教授 富士原 紀絵	
	(副 査) 教授 池田 全之	
	(審査委員) 教授 浜口 順子	
	(審査委員) 教授 池田 広子 (目白大学外国語学部)	